

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 2年次
[教育内容] 講義	[科目名] 関係法規・制度
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 福地 義広
[授業の目的・概要] 社会における法の役割、法と政治の関係、法の種類及び衛生法規について学び、美容師が社会で働くためには、法制度に従って働くことが必要であり、かつまた、美容師という仕事も法制度によって社会に位置づけられていることを理解してもらう。	
[授業内容] 【第1回】 社会生活における法の役割 【第2回】 法の実際 【第3回】 衛生法規の概要 【第4回】 法と行政 【第5回】 衛生行政の意義と歴史 【第6回】 衛生行政の種類と衛生行政機関 【第7回】 第1回確認試験 【第8回】 美容師法の目的と構成 【第9回】 用語の定義 【第10回】 美容師 【第11回】 美容所 【第12回】 立入検査と環境衛生監視員 【第13回】 違反者等に対する行政処分 【第14回】 罰則 【第15回】 参考事項 【第16回】 第2回確認試験 【第17回】 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律 【第18回】 地域保健法及び労働基準法 【第19回】 消費者基本法及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律 【第20回】 期末試験（又は、2年前期 期末試験）	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 関係法規・制度（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料（美容師法令集）

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 講義	[科目名] 衛生管理
[時間及び単位数] 90時間 3単位	[担当教員] 南出 千景
<p>[授業の目的・概要] 公衆衛生、環境衛生の意義と目的を美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させ、なおかつ、感染症予防、美容器具などの消毒方法等を美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であることを具体的に理解させる。</p>	
<p>[授業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 【第1回】 公衆衛生の意義と課題 【第2回】 公衆衛生発展の歴史 【第3回】 公衆衛生の具体的な課題と領域 【第4回】 理容師・美容師と公衆衛生 【第5回】 保健所と理容業・美容業 【第6回】 第1回確認試験 【第7回】 予防医学 【第8回】 疫学の重要性と予防医学の推進 【第9～12回】 保健 【第13～14回】 医療介護の制度 【第15回】 第2回確認試験（又は、1年前期 期末試験） 【第16～18回】 環境衛生の概要 【第19～22回】 空気・水・日光 【第23～26回】 衣食住と健康 【第27～28回】 上・下水道と廃棄物 【第29～30回】 衛生害虫とネズミ 【第31～33回】 公害と環境保全 【第34回】 第3回確認試験 【第35～36回】 理容所・美容所の衛生管理 【第37～39回】 人と感染症 【第40～42回】 病原微生物 【第43～45回】 感染症の予防 【第46～48回】 理容・美容と感染症 【第49回】 第4回確認試験（又は、1年後期 期末試験） 【第50回】 消毒の意義と理容・美容の業務と消毒との関係 	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] 衛生管理（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 講義	[科目名] 衛生管理
[時間及び単位数] 90時間 3単位	[担当教員] 南出 千景
<p>[授業の目的・概要] 公衆衛生、環境衛生の意義と目的を美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させ、なおかつ、感染症予防、美容器具などの消毒方法等を美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であることを具体的に理解させる。</p>	
<p>[授業内容] 【 第 51 回 】 消毒法と適用上の注意 【 第 52 回 】 第5回確認試験 【 第 53 ～ 54 回 】 理学的消毒法（殺菌法） 【 第 55 ～ 56 回 】 化学的消毒法（殺菌法） 【 第 57 回 】 すぐれた消毒法とその実施上の注意 【 第 58 回 】 第6回確認試験 【 第 59 回 】 各種消毒法と実習 【 第 60 回 】 期末試験（又は、2年前期 期末試験）</p>	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] 衛生管理（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 講義	[科目名] 美容保健
[時間及び単位数] 90時間 3単位	[担当教員] 南出 千景
[授業の目的・概要] 美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。	
[授業内容] 【第1回】 理容・美容保健と理容師・美容師、環境と生体 【第2回】 細胞と体液 【第3回】 第1回確認試験 【第4回】 骨格器系 【第7回】 第2回確認試験 【第8～10回】 筋系 【第11回】 第3回確認試験 【第12～13回】 神経系 【第14回】 第4回確認試験 【第15～17回】 感覚器系 【第18回】 第5回確認試験 【第19～21回】 循環器系 【第22回】 第6回確認試験 【第23～25回】 呼吸器系 【第26回】 第7回確認試験 【第27～28回】 消化器系 【第29回】 第8回確認試験 【第30回】 泌尿器系 【第31回】 第9回確認試験（又は、1年前期 期末試験） 【第32回】 内分泌系 【第33回】 第10回確認試験 【第34～35回】 環境と生体 【第36回】 第11回確認試験 【第37～38回】 皮膚の構造 【第39回】 第1回確認試験	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 保健（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 講義	[科目名] 美容保健
[時間及び単位数] 90時間 3単位	[担当教員] 南出 千景
[授業の目的・概要] 美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。	
[授業内容] 【第40回】 皮膚付属器官の構造 【第41回】 第2回確認試験（又は、1年後期 期末試験） 【第42～43回】 皮膚の循環系と神経系 【第44回】 第3回確認試験 【第45～46回】 皮膚と付属器官の生理機能 【第47回】 第4回確認試験 【第48～49回】 皮膚と付属器官の保健 【第50回】 第5回確認試験 【第51～57回】 皮膚と付属器官の疾患 【第58回】 第6回確認試験 【第59回】 期末試験（又は、2年前期 期末試験）	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 保健（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年～2年次
[教育内容] 講義	[科目名] 香粧品科学
[時間及び単位数] 60時間 2単位	[担当教員] 森 真
<p>[授業の目的・概要] 物理・化学の基本原理についての理解とその応用能力とが、美容師にとって極めて重要な意義を持つことを理解させ、美容器具や香粧品の合理的な取扱方法に習熟させる。 また、美容器具や香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。</p>	
<p>[授業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 【 第 1 回 】 力とそのはたらき 【 第 2 回 】 刃物と力 【 第 3 回 】 第1回確認試験 【 第 4 回 】 温度と熱 【 第 5 回 】 熱の移動 【 第 6 回 】 物質の状態の変化 【 第 7 回 】 第2回確認試験 【 第 8 回 】 光の進み方と光の色と明るさ 【 第 9 回 】 第3回確認試験 【 第 10 回 】 電気の基本的性質 【 第 11 回 】 電流の化学作用と電池 【 第 12 回 】 電気のエネルギー 【 第 13 回 】 電流と磁界 【 第 14 回 】 第4回確認試験（又は、1年前期 期末試験） 【 第 15 回 】 理容・美容の電気機器と使用上の注意 【 第 16 回 】 期末試験 【 第 17 回 】 物質の構造 【 第 18 回 】 第1回確認試験 【 第 19 回 】 溶液とコロイド 【 第 20 回 】 第2回確認試験 【 第 21 回 】 酸と塩基と塩 【 第 22 回 】 第3回確認試験 【 第 23～24 回 】 酸化・還元反応 【 第 25 回 】 第4回確認試験 【 第 25 回 】 有機化合物 	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] 美容の物理・化学（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年～2年次
[教育内容] 講義	[科目名] 化粧品化学
[時間及び単位数] 60時間 2単位	[担当教員] 森 真
<p>[授業の目的・概要] 物理・化学の基本原則についての理解とその応用能力とが、美容師にとって極めて重要な意義を持つことを理解させ、美容器具や化粧品の合理的な取扱方法に習熟させる。 また、美容器具や化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。</p>	
<p>[授業内容] 【 第 45 回 】 第5回確認試験（又は、1年後期 期末試験） 【 第 46 回 】 水と金属、燃焼と消火器 【 第47～48回 】 化粧品概論 【 第49～51回 】 化粧品用原料 【 第52～53回 】 基礎化粧品 【 第 54 回 】 第6回確認試験 【 第 55 回 】 メイクアップ用化粧品 【 第56～57回 】 頭皮・毛髪用化粧品 【 第 58 回 】 第7回確認試験 【 第 59 回 】 その他の化粧品と化粧品の取扱 【 第 60 回 】 期末試験（又は、2年前期 期末試験）</p>	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] 美容の物理・化学（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 講義	[科目名] 美容文化論
[時間及び単位数] 60時間 2単位	[担当教員] 具志千陽
<p>[授業の目的・概要] さまざまな髪型・化粧・服装のトータルファッションの歴史を学ぶことで流行のメカニズムを知り、時代を読み、芸術的な表現力と観察力を養い、確かな技術力、感性を身につける。 併せてファッションの造形色彩の原理などを学ぶことにより感性を高めていく目的とする。</p>	
<p>[授業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 【第1～2回】 理容・美容の語義 【第3～4回】 化粧の意味 【第5～6回】 顔を考える 【第7～8回】 文化的記号としての髪の毛 【第9～11回】 日本美容業の歴史 【第12～15回】 ファッション文化史、縄文・弥生・古墳時代 【第16～19回】 ファッション文化史、古代・中世 【第20回】 ファッション文化史、近世前期・近世後期・近代 【第21回】 ファッション文化史、現代Ⅰ・現代Ⅱ・現代Ⅲ 【第22回】 第1回確認試験 【第23～24回】 ファッション文化史、古代エジプト・ギリシャローマ・ゲルマン 【第25～26回】 ファッション文化史、中世ヨーロッパ 【第27～28回】 ファッション文化史、近世Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 【第29～30回】 ファッション文化史、近代Ⅰ・Ⅱ 【第31～32回】 ファッション文化史、現代Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ 【第33～34回】 礼装の種類（和装・洋装） 【第35～36回】 ファッションとは・トータルファッションの造形原理、 【第37回】 第2回確認試験 【第38回】 色彩のコーディネート 【第39～40回】 コラージュ作成（提出物評価対象） 	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] 文化論（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 講義	[科目名] 美容技術理論
[時間及び単位数] 150時間 5単位	[担当教員] 宮國智美、上原幸枝 (実務経験あり)
<p>[授業の目的・概要] 美容の基礎的な理論と技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を身につけさせると同時に美容器具・薬品・薬剤の正しい知識をもち、使用方法についても習熟させる。 又、個々の技術習得はそれぞれ理論と動作を並行して具体的に履修させ、より効果的に習得させる。</p>	
<p>[授業内容] 【 第 1 回 】 美容技術理論を学ぶにあたって 【 第 2 回 】 美容用具（コーム・ブラシ・シザーズ・レザーピン類・ヘアクリップ・ロッド・） 【 第 3 回 】 美容用具（ローラー・ヘアアイロン・ヘアドライヤー・ヘアスチーマー・遠赤外線 【 第 4～8回 】 シャンプーイング技術(総論・サイドシャンプー・バックシャンプー) 【 第 9～10回 】 リンス・コンディショナー・トリートメント・スカルプトリートメント) 【 第 11 回 】 第1回確認試験 【 第 12～13回 】 ヘアカッティング（シザーズ、レザーの扱い方・正しい姿勢・ブロッキング） 【 第 14 回 】 ヘアカッティングの基礎理論 【 第 15 回 】 ベーシックなカット技法 【 第 16～17回 】 シザーズによるカット技法 【 第 18 回 】 レザーによるカット技法 【 第 19～20回 】 パーマネントウェーピングの歴史と現在・理論 【 第 21～22回 】 パーマ剤の分類・パーマ剤に関する注意事項 【 第 23～27回 】 パーマネントウェーブ技術・ワインディングのバリエーション 【 第 28 回 】 第2回確認試験（又は1年前期 期末試験） 【 第 29～33回 】 ヘアセッティング（パーティング・シエーピング・カーリング・ローラーカーリン 【 第 34～40回 】 ヘアウェーピング・ブロードライ・アイロンセッティング 【 第 41～43回 】 バックコーミング・アップスタイル・ウィッグとヘアピース 【 第 44～47回 】 ヘアカラーリング（概論・種類・タイプ別特徴・染毛のメカニズム・色の基本・） 【 第 48～50回 】 ヘアカラーリング（毛髪のレベルとアンダートーン・パッチテスト・注意事項・道 【 第 51～55回 】 ヘアカラーリング（酸化染毛剤、酸化染毛料の技術手順・ヘアブリーチ） 【 第 56 回 】 第3回確認試験 【 第 57～63回 】 エステティック（概論・皮膚の生理と構造・カウンセリング） ボディケア（技術・マッサージ）・脱毛技術</p>	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献]

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 講義	[科目名] 美容技術理論
[時間及び単位数] 150時間 5単位	[担当教員] 宮國智美、上原幸枝 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 美容の基礎的な理論と技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を身につけさせると同時に美容器具・薬品・薬剤の正しい知識をもち、使用方法についても習熟させる。 又、個々の技術習得はそれぞれ理論と動作を並行して具体的に履修させ、より効果的に習得させる。	
[授業内容] 【第64～67回】 マッサージ理論・フェイシャルケア技術・フェイシャル、デコルテマッサージ・パ 【第68～72回】 ネイル技術（概論・種類・爪の構造機能・爪のカット形状・公衆衛生・カウンセリン 【第73～77回】 ネイルケア・アーティフィシャルネイル・手と足のマッサージ 【第78～82回】 メイクアップ（概論・色彩・道具）・顔の形態学的な観察・皮膚の生理と構造 【第83～87回】 スキンケア・ベース、アイメイク、アイブロウ、リップ、ブラッシュオンメイク、 まつ毛エクステンション 【第88回】 第4回確認試験（1年後期、期末試験） 【第89～93回】 日本髪（由来・各部の名称・種類特徴・調和・装飾品・道具・技術・手入れ・かつ 【第94～96回】 着付けの理論と技術（目的・礼装・季節・帯・小物・各部の名称・たたみ方・要領） 【第97回】 留袖、振袖技術・帯締め帯揚げ結び方・男子礼装技術・羽織の紐結び・女子袴技術、 婚礼着付けの注意事項・和装、礼装花嫁 【第98回】 期末試験（又は2年前期、期末試験）	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカ ッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以 上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 技術理論（美容版：公益社団法人 日本理容美 容教育センター） 配布資料

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 講義	[科目名] 運営管理
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 上原 幸枝 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 経営管理の基本的事項を学習し、美容業における経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせる。また、適切な接客態度の重要性を自覚させるとともに消費者対応の基本を学び、実践する能力を身に付けさせる。	
[授業内容] 【 第 1 回 】 仕事をすること 【 第 2 回 】 第1回確認試験 【 第 3 回 】 接客の役割と基本 【 第 4 回 】 第2回確認試験 【 第 5 回 】 接客の計画・実践 【 第 6 回 】 第3回確認試験（又は、1年前期 期末試験） 【 第 7 回 】 接客の場で起こる問題 【 第 8 回 】 第4回確認試験 【 第 9 回 】 経営戦略 【 第 10 回 】 第5回確認試験 【 第 11 回 】 マーケティング 【 第 12 回 】 第6回確認試験（又は、1年後期 期末試験） 【 第 13 回 】 経営者の視点 【 第 14 回 】 第7回確認試験 【 第 15 回 】 資金の管理 【 第 16 回 】 第8回確認試験 【 第 17 回 】 労務管理とは何か 【 第 18 回 】 第9回確認試験 【 第 19 回 】 働くあなたの姿 【 第 20 回 】 第10回確認試験 【 第 21 回 】 健康管理の意義 【 第 22 回 】 第11回確認試験 【 第 23 回 】 美容師に多い健康上の問題 【 第 24 回 】 第12回確認試験 【 第 25 回 】 期末試験（又は、2年前期 期末試験）	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 運営管理（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 美容実習
[時間及び単位数] 900時間 30単位	[担当教員] 宮國智美、上原幸枝 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 美容技術の基礎的な操作を理論との連携を図りながら確実に身に付け完成度の高い技術を、日々の反復練習で習得させること。 衛生管理の重要性、消毒等の適切な実施方法、薬剤や化粧品の使用方法を習得させる事を目的とする。	
[授業内容] 【 第 1 回 】 美容技術における作業姿勢及び人体各部の名称 【 第 2 回 】 美容技術における用具の取り扱い 【 第 3～12回 】 シャンプーイング (サイドシャンプー) 【 第 13～22回 】 シャンプーイング (バックシャンプー) 【 第 23～26回 】 トリートメント及びスキャルプトリートメント 【 第 27 回 】 第1回確認試験 【 第 28～31回 】 シザーズとレザーの取り扱い・ブロッキング方法 【 第 32～44回 】 シザーズによるカット技法 【 第 45～57回 】 レザーによるカット技法 【 第 58 回 】 第2回確認試験 【 第 59～109回 】 ワインディング技術 【 第 110～130回 】 パーマネントウェーブ技術 【 第 131 回 】 第3回確認試験 (又は1年前期 期末試験) 【 第 132～199回 】 総合実習 (1年次実務実習を含む10時間を学内スチューデントサロンで実施) 【 第 200～308回 】 ヘアカーリング技術 【 第 328～388回 】 ヘアウェービング技術 【 第 389～399回 】 ローラーカール技術 【 第 400～419回 】 アップスタイル技術 【 第 420～430回 】 ブロードライ技術 【 第 431～451回 】 アイロンセッティング技術 【 第 452 回 】 第4回確認試験 【 第 453～463回 】 酸化染毛剤の技術手順 【 第 464～474回 】 酸化染毛料の技術手順・ヘアブリーチ技術 【 第 475 回 】 第5回確認試験 (又は、1年後期 期末試験) 【 第 476～496回 】 フェイシャル及びデコルテマッサージ技術	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 技術理論 (美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター) 配布資料

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 美容実習
[時間及び単位数] 900時間 30単位	[担当教員] 宮國智美、上原幸枝 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 美容技術の基礎的な操作を理論との連携を図りながら確実に身に付け完成度の高い技術を、日々の反復練習で習得させること。 衛生管理の重要性、消毒等の適切な実施方法、薬剤や化粧品の使用方法を習得させる事を目的とする。	
[授業内容] 【第497～501回】 ネイル技法及び公衆衛生 【第502～507回】 スキンケア 【第508～514回】 メイク道具の使用方法・ベース・アイメイク・アイブローメイク・リップメイク 【第515～536回】 まつ毛エクステンション技術 【第537～539回】 着物の名称・たたみ方 【第540～546回】 浴衣・留袖・振袖・男子、女子袴着付け 【第547～557回】 総合実習 【第558回】 第6回確認試験（又は2年前期 期末試験） 【第560～600回】 総合実習（2年次実務実習を含む30時間を学内スチューデントサロンで実施）	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 技術理論（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（ネイル）
[時間及び単位数] 90時間 3単位	[担当教員] 山内弘美
<p>[授業の目的・概要] 爪の健康について学び、爪を美しく保つための手入れ方法と、爪の修理リペアを習得し、爪のおしゃれネイルアートまで学び、フットケアの基礎知識と技術を学びます。 授業概要：手指消毒～不アイリング、甘皮処理、カラーリング、リペア、ペイントアート、チップラップ等ができるようになります。ネイル2級を目指します。</p>	
<p>[授業内容]</p> <p>【第1回】 教材確認・名称と使用方法の説明。ハンド作成、ケアでデモ</p> <p>【第2回】 学科（爪の知識、名称、役割、消毒法について～</p> <p>【第3回】 ネイルケア実習（セッティング・手指消毒・ファイリング、爪の形5種）ハンドで練習</p> <p>【第4回】 ネイルケア実習（手順の確認）※相モデル</p> <p>【第5～6回】 ネイルケア実習（手指消毒・ファイリング・キューティクルケアまで※相モデル</p> <p>【第7～8回】 ネイルケア実習（カラーリング・はみ出し修正・ポリオフまで）※相モデル</p> <p>【第9～10回】 ネイルケア実習（全行程の練習を60分で行う。※相モデル</p> <p>【第11回】 学科（爪の病気とトラブルについて～）</p> <p>【第12～13回】 ネイルケア実習（全行程の練習 相モデル）60分タイムトライアル</p> <p>【第14回】 3級検定対策 ※学科模擬テスト（30分）</p> <p>【第15～16回】 ネイルアート（ペイント・フラワー・5枚花など）アートデモ</p> <p>【第17回】 ネイルアート（ペイント検定作品をチップに作成 10分仕上げ※作品提出</p> <p>【第18～20回】 ネイルアート（ペイント検定作品をチップに作成 10分仕上げ 相モデル</p> <p>【第21～36回】 3級検定対策（3級全行程タイムトライアル70分）相モデル</p> <p>【第37～43回】 2級検定内容 チップ&ラップ</p> <p>【第44～47回】 2級検定内容 ネイルアート</p> <p>【第48～52回】 2級検定内容 全行程トレーニング（90分）</p> <p>【第53～54回】 2級検定対策（2級全行程タイムトライアル90分）※相モデル</p> <p>【第55回】 検定対策 ※相モデル</p> <p>【第56回】 フットケア実習（セッティング～全行程）※デモ</p>	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] 公益社団法人日本理容美容教育センターテキスト・MICHIO Nozawa STYLE Book ABE text Book Eyelash、extension プリント配布</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（ネイル）
[時間及び単位数] 90時間 3単位	[担当教員] 山内弘美
<p>[授業の目的・概要] 爪の健康について学び、爪を美しく保つための手入れ方法と、爪の修理リペアを習得し、爪のおしゃれネイルアートまで学び、フットケアの基礎知識と技術を学びます。 授業概要：手指消毒～不アイリング、甘皮処理、カラーリング、リペア、ペイントアート、チップラップ等ができるようになります。ネイル2級を目指します。</p>	
<p>[授業内容]</p> <p>【第57～58回】 フットケア実習（セッティング～角質除去まで）※相モデル</p> <p>【第59～60回】 フットケア実習（セッティング～カラーリングまで）※相モデル</p> <p>【第61回】 ジェルネイル基礎知識</p> <p>【第62回】 ジェルネイル基礎技術 プリパレーション 相モデル</p> <p>【第63～64回】 ジェルネイル基礎技術 ジェルの塗布・除去 相モデル</p> <p>【第65～68回】 ジェルネイル基礎技術 ジェルアート チップに作成</p> <p>【第69～70回】 ジェルネイル実習 相モデル</p>	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] 公益社団法人日本理容美容教育センターテキスト・MICHIO Nozawa STYLE Book ABE text Book Eyelash、extension プリント配布</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（研修等）
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 丸野早苗
[授業の目的・概要] 社会人・専門的技術者としての自覚を養い習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。	
[授業内容] <p>【第1～2回】 自己紹介、材料名前記入、きもに必要な小物配布、名称記入、肌襦袢のたたみ方補正の役目、補正のやり方、タオル肌襦袢の着せ方。</p> <p>【第3～4回】 浴衣の着装、浴衣のたたみかた。半幅帯の花文庫結び、男性の浴衣自装、角帯、貝口結び</p> <p>【第5～6回】 浴衣の着装（自装、帯結び、花文庫、他装）男性ゆかたの着装、自装、他装、貝の口、一文字）</p> <p>【第7～8回】 ゆかたの着装（相モデル、半幅帯ののアレンジ）小紋の着装、他装（肌襦袢→補正→長襦袢→きもの→伊達締め）まで</p> <p>【第9～10回】 小紋の着装、他装（名古屋帯の一重太鼓、帯締め、本結び、名古屋帯きものたたみ方）</p> <p>【第11～12回】 小紋の他装テスト、テスト手順（名古屋帯、きもの、帯揚げ帯締め、帯枕、長襦袢、帯板、肌襦袢、補正タオル）</p> <p>【第13～14回】 留め袖の着装（、他装）相モデル、留め袖伊達しめまで（肌襦袢、補正、長襦袢、きもの、おはしより調整、伊達締め。袋帯の二重太鼓デモンストレーション、袋帯のたたみ方</p> <p>【第15～16回】 留め袖の他装、相モデル、袋帯の二重太鼓（帯揚げ、帯締め、本結び）テスト実技（着装ポイント説明）</p> <p>【第17～18回】 留め袖テスト（タイム40分）</p> <p>【第19～20回】 総復習</p>	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 自主編成資料 プリント配布

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目美容総合技術（メイク）
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 田場尊子 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 技術者としての心得、化粧品アイテムの選び方付け方を学び、クレンジング～フルメイクまでのメイクアップの基礎を身につける。 メイク道具の使い方、技術者としての心得。肌の手入れ方法。顔の立体分析とパーツバランス、メイクデッサン画を描く。クレンジング～フルメイクができるようになる。	
[授業内容] 【第1回】 オリエンテーション・技術者としての心得。 【第2回】 クレンジング 【第3回】 顔の立体分析とパーツバランス、ベースメイク① 【第4回】 顔の立体分析とパーツバランス、ベースメイク② 【第5回】 色の選び方、付け方を学び、崩れにくいベースを作る。ファンデーションコントロールカラー、コンシーラーの種類と使い方。① 【第6回】 色の選び方、付け方を学び、崩れにくいベースを作る。ファンデーションコントロールカラー、コンシーラーの種類と使い方。② 【第7回】 メイクデッサン画、アイメイク、眉のプロポーション、（アイブロウ、アイシャドー、アイラインの入れ方、ビューラーの使い方と付け方。① 【第8回】 メイクデッサン画、アイメイク、眉のプロポーション、（アイブロウ、アイシャドー、アイラインの入れ方、ビューラーの使い方と付け方。② 【第9回】 アイメイク復習、リップ&チーク、シェイディング・ハイライトテクニック① 【第10回】 アイメイク復習、リップ&チーク、シェイディング・ハイライトテクニック② 【第11回】 フルメイク～メイクアップの色とバランス① 【第12回】 フルメイク～メイクアップの色とバランス② 【第13回】 傷メイク、ボディージュエリー① 【第14回】 傷メイク、ボディージュエリー② 【第15回】 眼の形別アイシャドーテクニック&唇の形別描き方テクニック、復習① 【第16回】 眼の形別アイシャドーテクニック&唇の形別描き方テクニック、復習② 【第17回】 キウートメイク（ツヤ肌、パールの質感）① 【第18回】 キウートメイク（ツヤ肌、パールの質感）② 【第19回】 クールメイク（マット肌、骨格作り）① 【第20回】 クールメイク（マット肌、骨格作り）②	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] ICAMメイクアップtext、自主編成教材 ABE text Book Eyelash、extension プリント配布

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（アロマ）
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 島袋 直美
<p>[授業の目的・概要] 目的：社会人・専門的技術者としての自覚を養い習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。</p>	
<p>[授業内容]</p> <p>【第1回】 オリエンテーション（自己紹介、アロマセラピーって何？、AEAJ認定資格制度とは第1章アロマセラピーについて・第2章精油の基礎知識①）</p> <p>【第2回】 オリエンテーション（自己紹介、アロマセラピーって何？、AEAJ認定資格制度とは第1章アロマセラピーについて・第2章精油の基礎知識②）</p> <p>【第3回】 第3章精油のプロフィール・第4章安全な精油の使い方。①</p> <p>【第4回】 第3章精油のプロフィール・第4章安全な精油の使い方。②</p> <p>【第5回】 第5章アロマセラピー利用法①</p> <p>【第6回】 第5章アロマセラピー利用法②</p> <p>【第7回】 第6章アロマセラピーの歴史①</p> <p>【第8回】 第6章アロマセラピーの歴史②</p> <p>【第9回】 2級テキスト総まとめ①</p> <p>【第10回】 2級テキスト総まとめ②</p> <p>【第11回】 2級テキスト総まとめ③</p> <p>【第12回】 2級テキスト総まとめ④</p> <p>【第13回】 香りと脳のメカニズム・実習（アロマルームフレッシュナー）①</p> <p>【第14回】 香りと脳のメカニズム・実習（アロマルームフレッシュナー）②</p> <p>【第15回】 実習（アロマ石鹸）①</p> <p>【第16回】 実習（アロマ石鹸）②</p> <p>【第17回】 ストレスマネジメント・実習（アロマオリジナル香水）①</p> <p>【第18回】 ストレスマネジメント・実習（アロマオリジナル香水）②</p> <p>【第19回】 ハーブティー試飲（ラベンダー、カモミール、ローズ、ペパーミント、レモングラス） ①</p> <p>【第20回】 ハーブティー試飲（ラベンダー、カモミール、ローズ、ペパーミント、レモングラス） ②</p>	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] アロマセラピーテキスト2級 プリント配布</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目美容総合技術 (まつげエクステンション)
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 上原幸枝(実務経験あり) 榎本三奈
[授業の目的・概要] まつげエクステンションの衛生管理と眼・皮膚・毛髪に関する知識の向上と技術のレベルアップや、就職後の即戦力を目標とします。 手指消毒及び用具の消毒、基本セッティング、保護用テーピングの貼り方、まつ毛のかき分けカールの装着、カウンセリング、リムービングの仕方、デザイン、カラーまつ毛エクステンションなど。	
[授業内容] 【第1回】 教材チェック準備物の確認、グループ分け、レッスンペーパーにて付け方 【第2回】 教材チェック準備物の確認、グループ分け、レッスンペーパーにて付け方 【第3回】 まつ毛エクステ衛生管理、レッスンペーパーにて付け方、テーブルセッティング 【第4回】 まつ毛エクステ衛生管理、レッスンペーパーにて付け方、テーブルセッティング 【第5回】 オデルウィッグの扱い方・まつ毛のかき分け・装着（デモンストレーション・実習） 【第6回】 オデルウィッグの扱い方・まつ毛のかき分け・装着（デモンストレーション・実習） 【第7回】 モデルウィッグにてテーピングの付け方（デモンストレーション・実習） 【第8回】 モデルウィッグにてテーピングの付け方（デモンストレーション・実習） 【第9回】 相モデルにてテーピングの付け方 【第10回】 相モデルにてテーピングの付け方 【第11回】 モデルウィッグにてカールの装着 【第12回】 モデルウィッグにてカールの装着 【第13回】 モデルウィッグにてカールの装着・リムービング 【第14回】 モデルウィッグにてカールの装着・リムービング 【第15回】 相モデルにてアイシャンプー 【第16回】 相モデルにてアイシャンプー 【第17回】 テーピング・リムービング・カールの装着まで 【第18回】 テーピング・リムービング・カールの装着まで 【第19回】 テーピング・リムービング・カールの装着まで 【第20回】 テーピング・リムービング・カールの装着まで 【第21回】 テーピング・リムービング・カールの装着まで装着テスト 【第22回】 テーピング・リムービング・カールの装着まで装着テスト	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 公益社団法人日本理容美容教育センター、ABE、text、Book（図解眼感染症）北野周作編、メディカルトリビューン社 プリント配布

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（ヘアショー）
[時間及び単位数] 60時間 2単位	[担当教員] 上原幸枝、新垣由美、宮國智美 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 目的：社会人・専門的技術者としての自覚を養い習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。	
[授業内容] 【第1～2回】 グループディスカッション（ヘアショーを行う目的とは） 【第3～4回】 グループディスカッション（テーマ決定） 【第5～6回】 グループディスカッション（グループ定最終） 【第7～8回】 グループディスカッション（モデル決定） 【第9～10回】 グループディスカッション（ショーの使用音楽決定） 【第11～12回】 グループディスカッション（作品デッサン） 【第13～14回】 グループディスカッション（作品作成） 【第15～16回】 グループディスカッション（作品作成） 【第17～18回】 グループディスカッション（作品作成） 【第19～20回】 グループディスカッション（作品作成） 【第21～22回】 グループディスカッション（作品作成） 【第23～24回】 グループディスカッション（作品作成） 【第25～26回】 グループディスカッション（作品作成） 【第27～28回】 モデル・ウォーキング開始・作品作成 【第29～30回】 モデル・ウォーキング開始・作品作成 【第31～32回】 モデル・ウォーキング開始・作品作成 【第33～34回】 ショーリハーサル 【第35～36回】 ショーリハーサル 【第37～38回】 ショー本番 【第39～40回】 ショー本番	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 美容総合雑誌

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（研修等）
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 赤嶺良次、上原幸枝、宮國智美 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 美容技術に関する知識の向上と技術のレベルアップや就職後の即戦力を目的とします。 最新のヘアスタイヤ、実際に生徒も体験する。社会人としての言葉使いやマナーなどを学ぶ。各種大会に参加する。	
[授業内容] 【第1回】 (株) 田谷セミナー 【第2回】 (株) 田谷セミナー 【第3回】 マナー講習 【第4回】 マナー講習 【第5回】 SPC沖縄大会 【第6回】 SPC沖縄大会 【第7回】 SPC沖縄大会 【第8回】 SPC沖縄大会 【第9回】 (有) 花屋の前の美容室 雨宮様講話 【第10回】 コングレス沖縄大会 【第11回】 コングレス沖縄大会 【第12回】 コングレス沖縄大会 【第13回】 コングレス沖縄大会 【第14回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第15回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第16回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第17回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第18回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第19回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第20回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第21回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第22回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第23回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第24回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選 【第25回】 全国理容美容学生技術大会九州地区予選	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 自作テキスト 各案内文、パンフレット等

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（エステティック技術）
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 與那覇浩子
<p>[授業の目的・概要] 現場（エステサロン）と同じ機器・化粧品を用いて、フェイシャルの手順、流れを学ぶ。 ※エステサロンで行う準備・片付け（ベットメイキング・使用済みの機器など）仕方を学ぶ。 授業の概要※クレンジング基材の使い方（コットン・綿棒・クレンジングオイル）※マッサージ基材の使い方（クリーム・オイル）※パック基材の使い方・手順、※スポンジ・ホットタオルの使い方。※機器の使い方。</p>	
<p>[授業内容]</p> <p>【第1回】 フェイシャルクレンジング（ポイントメイク）目的、手順①</p> <p>【第2回】 フェイシャルクレンジング（ポイントメイク）目的、手順②</p> <p>【第3回】 フェイシャルクレンジング（クレンジングの手順を覚える）①</p> <p>【第4回】 フェイシャルクレンジング（クレンジングの手順を覚える）②</p> <p>【第5回】 スポンジの手順と使い方を覚える。①</p> <p>【第6回】 スポンジの手順と使い方を覚える。②</p> <p>【第7回】 ホットタオルの手順と酵素パックの使い方を学ぶ。①</p> <p>【第8回】 ホットタオルの手順と酵素パックの使い方を学ぶ。②</p> <p>【第9回】 機器（吸引の手順・使い方）を学ぶ。①</p> <p>【第10回】 機器（吸引の手順・使い方）を学ぶ。②</p> <p>【第11回】 マッサージデコルテ（目的・手順）①</p> <p>【第12回】 マッサージデコルテ（目的・手順）②</p> <p>【第13回】 マッサージデコルテ（身体の使い方、リズムを身につける）①</p> <p>【第14回】 マッサージデコルテ（身体の使い方、リズムを身につける）②</p> <p>【第15回】 フェイシャルマッサージ（軽擦法・強擦法・揉捏）①</p> <p>【第16回】 フェイシャルマッサージ（軽擦法・強擦法・揉捏）②</p> <p>【第17回】 フェイシャルマッサージ（打法・指圧・振動法・圧迫）①</p> <p>【第18回】 フェイシャルマッサージ（打法・指圧・振動法・圧迫）②</p> <p>【第19回】 フェイシャルトリートメントを行う。①</p> <p>【第20回】 フェイシャルトリートメントを行う。②</p>	
<p>[単位認定の方法及び基準] 定期試験・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。</p>	<p>[使用テキスト・参考文献] AEA実技テキスト</p>

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（学生サロン）
[時間及び単位数] 180時間 6単位	[担当教員] 宮國智美、上原幸枝、新垣優美、仲栄真樹 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 社会人、専門的秘術者としての自覚を養い、習得した基礎的な知識的知識や技術をを更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。	
[授業内容] 【第1～2回】 パーマの基礎巻きのためのブロッキング10ブロック 【第3～4回】 パーマの基礎巻き（全頭） 【第5～32回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・アイラッシュ） 【第33～38回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・ネイル） 【第39回】 ネイルアート 【第40～43回】 各課題作成 【第44～47回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・ネイル） 【第48～49回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・アイラッシュ） 【第50～51回】 パーマ基礎巻き全頭（サロンワーク） 【第52～55回】 課題練習 【第56～57回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・ネイル） 【第58～59回】 課題作成 【第60～63回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・ネイル） 【第64～65回】 体験学習 【第66～67回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・ネイル） 【第68～69回】 パーマ基礎巻き全頭（サロンワーク） 【第70～73回】 選択授業コース（ヘアスタイリスト・ブライダルスタイリスト・ネイル） 【第74～81回】 課題練習 【第82～89回】 課題作成 【第90～95回】 ヘッド・スパ	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 公益社団法人日本理容美容教育センターテキスト・MICHIO Nozawa STYLE Book ABE text Book Eyelash、extension プリント配布

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次～2年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（学生サロン）
[時間及び単位数] 180時間 6単位	[担当教員] 宮國智美、上原幸枝、新垣優美、仲栄真樹 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 社会人、専門的秘術者としての自覚を養い、習得した基礎的な知識の知識や技術をを更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。	
[授業内容] 【第96～98回】 パーマ基礎巻き全頭（サロンワーク） 【第99～100回】 ヘッド・スパ 【第101～102回】 パーマ基礎巻き全頭（サロンワーク） 【第103～104回】 サイドシャンプー（サロンワーク） 【第105～106回】 リアシャンプー 【第107～109回】 ヘッド・スパ 【第110～111回】 リアシャンプー 【第112～113回】 サイドシャンプー 【第114～115回】 リアシャンプー 【第116～117回】 サイドシャンプー 【第118～120回】 リアシャンプー	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 公益社団法人日本理容美容教育センターテキスト・MICHIO Nozawa STYLE Book ABE text Book Eyelash、extension プリント配布

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 美容総合技術（パーソナルカラー）
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 外間 恵
[授業の目的・概要] 目的：社会人・専門的技術者としての自覚を養い習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。	
[授業内容] 【第1～2回】 自己紹介・ Cus色相環・yu , Bu ・Cus 157色 一覧表（部分） 【第3～4回】 Cus 157色 一覧表作成（提出）・色の仕組みP30、P26からP28上（視覚三要素、電磁波、光源） 【第5～6回】 P28下、光源の特性、P29眼、P8～9 （2枚プリント提出） 【第7～8回】 四季の自然を表す色 P4～P7、色と生活P14～P17、色の種類P18～P25・色彩と文化P10～P11（冠位12階の制・特色と聴色・襲の式目） 【第9～10回】 色彩と文化、P12～P13（わび、さび江戸時代）、パーソナルカラーP70、パーソナルカラーの特徴P75（絵の具を作ってyu , Bu 確認） 【第11～12回】 パーソナルカラー、P70～P74（肌・髪の色合わせ）、ブライダルP66、2018、2019年目標設定。 【第13～14回】 服飾文化と服飾史の基礎知識P60～P61、パーソナルカラーP75～P91、Bu→Su・wi Yu →SP、Au、過去問題。 【第15～16回】 色相、色調 p 33～p37、復習、過去問題。 【第17～18回】 過去問題。 【第19～20回】 検定最終確認。	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] パーソナルカラーリスト検定3級公式テキスト。 CUSRカラーカード

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目（コミュニケーション）
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 赤嶺 良次 (実務経験あり)
[授業の目的・概要] 人と人のつながりを大事にし、相手の気持思っていることを察しコミュニケーション能力を高め就職したしに即戦力になるよう人材を育てる。	
[授業内容] 【第1回】 オリエンテーション 【第2回】 自己PR 【第3回】 自己PR 【第4回】 心理テスト 【第5回】 電話対応 【第6回】 Salonシュミレーション 説明、ミーティング 【第7回】 Salonシュミレーション ミーティング 【第8回】 Salonシュミレーション 練習 【第9回】 Salonシュミレーション 練習 【第10回】 Salonシュミレーション 発表 【第11回】 美容師のイメージ 【第12回】 どんな美容師になりたいか 【第13回】 10年計画レポート 【第14回】 10年計画レポート 【第15回】 10年計画レポート発表 【第16回】 心理テスト 自己分析 【第17回】 ヘアカラーについて グループミーティング 【第18回】 ヘアカラーについて グループミーティング 【第19回】 ヘアカラーについて グループミーティング 【第20回】 総まとめ	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 美容実習Ⅰ・Ⅱ（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター）、 自作テキスト 配布資料

授 業 概 要

[学科名] 美容師学科	[実施年次及び期間] 1年次
[教育内容] 実習	[科目名] 選択科目 (美容福祉)
[時間及び単位数] 30時間 1単位	[担当教員] 當間 奏子
[授業の目的・概要] 社会人・専門的技術者としての自覚を養い習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。	
[授業内容] 【第1～2回】 1自己紹介 2高齢者への美容支援 (実習にあたってのアイデア) 【第3～4回】 施設実習① Aグループ① 【第5～6回】 ① おもしろ心理学 ② 高齢者への美容支援 DVD (サンハート) 座学P0～P10 【第7～8回】 施設実習② Bグループ① 【第9～10回】 ① おもしろ心理学 座学～P16 ・集中力とストレス 【第11～12回】 施設実習③ Cグループ① 【第13～14回】 ① おもしろ心理学 座学P7～P21・高齢者支援・制作・テキスト3章 (所得保障) 【第15～16回】 施設実習③ Aグループ② 【第17～18回】 施設実習③ Bグループ② 【第19～20回】 施設実習③ Cグループ② 【第21～22回】 テキスト5章 (高齢者と障害者の心と体) ・障害者の身体的・心理的特徴・美容福祉試験 【第23～24回】 L、M、T美容支援 (施設用) セラピーアセスメント	
[単位認定の方法及び基準] 定期試験・・30%、出席率・30%、クラスディスカッション・30%、提出物・10% A80～100点、B70～79点、C60～69点、D59点以下、C以上を合格点とする。	[使用テキスト・参考文献] 公益社団法人日本理容美容教育センターテキスト (社会福祉)